



松蔭 校長室だより

一校長から保護者の皆様へのメッセージですー

2022年 1月 8日 発行

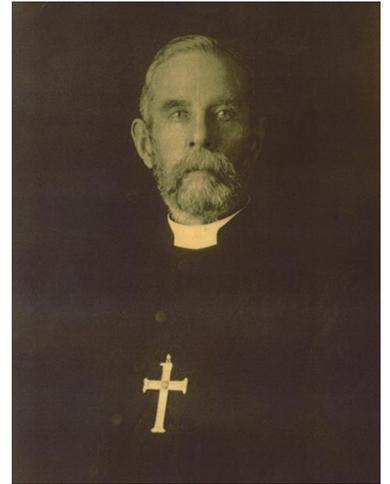
松蔭中学校・松蔭高等学校
校長 浅井宣光

目が見もせず耳が聞きもせず、人の心に思い浮かびもしなかったことを、神はご自分を愛する者たちに準備された。

(コリントの信徒への手紙 2:9)

「がんばりなさい」の代わりの言葉

1月8日は、松蔭女子学院の前身松蔭女学校の開校日として記録されています。明治時代の開港後の神戸の地には、英国国教会からH, J, フォス主教（右写真）が派遣され宣教活動を行っていましたが、日本人教育関係者と協力して「家族主義」を標榜する女学校「松蔭」を設立しました。1892（明治25）年のことです。本日の始業式の講話では、創立時の校舎や当時の生徒写真、第2次大戦前に校内に建てられた「聖ヒュー礼拝堂（明石市の聖マリア・マグダレン教会に移築されて現存しています）の写真などをスクリーンに映し出して校史に触れました。卒業生と、現在在籍している中学、高校生の人数は合計2万4401人にのぼります。その一人として伝統ある制服を着用し、松蔭生としての誇りをもって振る舞おうと話しました。



さて、学校の創設者のフォス主教は日本語も堪能で、日本語の聖歌や詩を書き残しています。彼の詩「聖ヨハネと狩人の会話」（「フォス主教回想録」松蔭女子学院史料第2集所収）に次の一節があります。

聖ヨハネ 「弓の弦（つる）をたるんだままにして、どうして張替えないのかね」

狩人 「先生、ご存知ですか？ 張りっぱなしの弓の弦というものは、プツンと切れたり、だらりと伸びたり。」

聖ヨハネ 「それこそが私の言いたかったこと。主にお仕えするのが私の仕事。主のために懸命に働いて、今は主と共に安らぐ時。はりつめるだけの心はプツンと切れたり、脆（もろ）くなったりしますからね。」

弓の弦（つる）は、常時はりつめてばかりだと切れたり伸びたりするから、そうならないようにたるんだ状態で置いておくというのです。弓道では練習が終わると弦をはずして弓を「休ませる」ことが多いそうですが、そのような状態を聖ヨハネは「主と共に安らぐ時」と言っています。考えてみれば、学校という場所は、生徒にいつも真逆の状態にあることを求める場所ではないかと感じます。教師は生徒に「がんばりなさい」と叱咤激励します。目いっぱい弓の弦をはり続けて学校生活を送るよう生徒に求めます。学習の成果が「成績」として評価され、部活の「勝敗」や「パフォーマンス」が重視されるのです。最終的に卒業後の進路実現という「成果」を求める組織ですから、「提出物の期限なんか気にせず、さぼりなさいよ」「練習はだらけながらやってもよいよ」などと言う教師がいたら、学校は成り立ちません。私もクラブ活動で登校する生徒に出会うと、口をついて出る言葉は「がんばって。風邪をひかないように」です。

作家のあさのあつこさんは、中学生や高校生を作品に登場させます。彼女はその理由について「書くに値する年代は十代。十代は自分がどれほどの魅力を持っているか気付いていない。」と言います。思春期まっただ中の危うさと疲労困憊して倒れ込むまで没頭し続ける情熱に、大きな伸びしろと行動変容の可能性を魅力として見ているのです。彼女の代表作のひとつに「バッテリー」というスポーツ小説がありますが、主人公をはじめ登場する野球少年たちの

生々しい感情の発露につい引き込まれます。その姿はまるで、つるをピンと張り続ける弦のようで、いつ切れないかとハラハラ、ドキドキしながら活字を追います。小説や映画の世界にとどまらず、現実の中高生の世代には、弦がだらりと伸びてしまったり、プツンと切れたりすることがしばしばあるのではないのでしょうか。幼い頃から一心に打ち込んできた習い事も、ひよんなことから情熱が途切れてしまって学校生活への意欲を失ったり、友人グループの小さな行き違いが大きな溝に広がって教室に入るが嫌になり、制服を着るのもおっくうになったりする時があるのです。あさのあつこさん流に言えば、それも「書くに値する年代」の魅力なのかもしれませんが、周りの大人たちは戸惑い、危うさを感じてしまいます。

ところで心理学者で学校カウンセリングの専門家、菅野純氏は著書「子どものこころを育てる『一言』探し」（ほんの森出版）のなかで、「ほめ言葉の構造」という一節を記しています。ほめて育てる「ほめ育」がはやりですが、彼によれば、子どもをほめるコツは、「時間軸」と「空間軸」にそって「ほめ言葉」を投げかけることだと言います。過去からみて現在、現在からみて未来を考えながら、プラスのフィードバックを与えるのが「時間軸」にそう「ほめ育」です。オペラのオーディションで審査員が「きれいな声で歌っています」と評するのではなく、「去年よりずっときれいな音になった」と過去から現在の変容をほめ、「この点を直したらもっと深い響きになるよ」と、未来への期待を語るのです。一方の「空間軸」とは、広い視点に立って本人も気付いていない「よさ」を指摘して「これもあなたの声のよいところだ」と指摘することです。別の角度から光をあててみるのです。「時間軸」と「空間軸」から励ましの言葉を与えられた人は、進むべき方向へと自信と勇気を持って歩むことができるのではないかと結んでいます。魅力ある十代の周りにいる大人たちは、アンテナを張り巡らしながらほんの少しの「時間軸」の動きを見逃さず、また、子ども自身も気付いていない長所を「空間軸」から引き出して、励ましたり勇気づけたりする言葉を投げかけるよう努めたいものです。家庭も学校も、子供の居場所であることは同じでしょう。「家族主義」の松蔭女学校設立から130年。「がんばりなさい」の代わりに言葉を探す年明けです。

保護者「おしゃべり会」のご案内

校門におられる守衛の方から、「高3生が、進学先が決まったと報告に来てくれました」と聞きました。守衛さんに進路の報告に行くとは、いかにも松蔭らしいと思いがながら ”It takes a village to raise a child.”（ひとりの子どもを育てるには村中みんなの力が必要だ）アフリカの諺を思い出しました。周りの大人が色々な角度から子供を見守り続けることの大切さを説きます。

子どもがトラブルに直面し、試練を乗り越えようとする姿を間近に見て、大人は不安を感じるものです。過保護、過干渉はよろしくない、そっと見守りながら、必要なタイミングに手を差し伸べることが子育てのポイントだと頭で分かっている、涙を流す姿を前に感情が先に立ち、手を出し口をはさんでは先回りし、結果的に成長のきっかけを失う例は少なくありません。

「子育てはいつでもやり直しがきく。」カウンセラーの先生の言葉です。TVドラマでフリーランス外科医が「わたし失敗しないので」と決め台詞（ぜりふ）を言いますが、これはドラマの世界。大人も子育てで失敗してもよいのです。親も教師も失敗します。失敗したら取りつくろうことなく「ごめんなさい」「力不足だった」と子供に頭を下げ、弱点を見せましょう。どうしたらたらよいのか分からなくなったら、学校にかかわる大人総出で、ああでもない、こうでもない話し合っ、皆の知恵と勇気を分かち合しましょう。

保護者「おしゃべり会」は、日頃の子育てのなかで感じるちょっとした疑問や心配などについて、気軽におしゃべりしよう、子供の学年の違いを越えて思いを分かち合い、親も元気になろう、という趣旨の集まりです。スクールモットーとおり、「オープンハート、オープンマインド」に語り合える場にしたいと思います。コロナ禍で日程調整に苦慮していましたが、このたび1年半ぶりに開催することになりました。学校側より校長と相談室カウンセラー（公認心理士）が出席します。近日中に保護者の皆様にClassiにてご案内します。

（予定） 2月18日（金）午後2時 テーマ「思春期の親子関係。反抗期とSNSなどについて」

学校ホームページ「災害・緊急時情報入力フォーム」の練習

大災害発生に備えて、教員は居住地地域ごとに4ブロックに分かれて対応組織を設けています。また、「学校防災委員会」を設置し、飲料水や食料など校内備蓄、生徒の安否情報収集の体制づくりなどを担当しているほか、「大災害対応マニュアル」を作成し、生徒全員に配布しています。2学期の終業式には、生徒は講堂にスマホを持ち込んで、学校HPの「災害・緊急時情報入力フォーム」に安否情報を入力する練習をしました。ちなみに、「大災害対応マニュアル」(左下写真)は、生徒手帳のカバーに入れておくことになっています。登下校時など、校外にいる時に大災害が起こった場合、このマニュアルを参考にして命を守る行動を取ります。その後、掲載している「学校への連絡方法、安否連絡について」にしたがい、QRコードまたは学校HPから自分や家族の安否情報を学校に知らせます。大災害の際には、命を守ることとともに、情報のやり取りも重要です。



< 生徒手帳カバーに入れる「大災害対応マニュアル」 > < HPの「災害・緊急時情報入力フォーム」ページ >

1月の行事予定

校内での主な行事の予定です。詳細は、各学年からの連絡でご確認ください。

- 1月8日(土) 始業式 *特別下校時刻(午後2時) 創立記念礼拝(教職員のみ)のため
- 1月9日(日) 茶道部「初釜」
- 1月11日(火) 授業開始
- 1月12日(水) 高1、高2 実力考査 中1DS/GS 宿題考査 中3 修学旅行(代替)説明会
- 1月14日(金) 阪神淡路大震災記念礼拝(8:25朝礼、8:30礼拝) 授業④校時まで(中学入試準備のため)
- 1月15日(土)～17日(月) 中学入試期間(自宅学習日)
- 1月19日(水) 中1「百人一首」大会
- 1月21日(金) お誕生日礼拝
- 1月22日(土) 中学入試合格者登校日(生徒は授業あり)
- 1月23日(日) 英検一次試験(本会場校)
- 1月25日(火) 中1わくわくオーケストラ(①～③授業、昼食後出発)
- 1月26日(水) 40分授業 生徒会立会演説会
- 1月27日(木)～29日(土) 中2 British Hills 英語研修 1月29日(土) にじ作業所パン販売
- 1月31日(月) ⑥高2 性教育講演会(マナ助産院)